

文武に活躍する高田高校生

高田高校管弦楽団、全国高等学校選抜オーケストラフェスタに出場

昨年12月28日(日)、高田高校管弦楽団（器楽部、齋京四郎顧問）が、日本青年館で開催された「全国高等学校選抜オーケストラフェスタ」に出場し、ドボルザークの交響曲第9番「新世界より」第四楽章を演奏した。あわせて、参加校全校生徒から選ばれた「選抜演奏会」（弦楽アンサンブル、バイオリンコンチェルト、オーケストラの3種）には13名が参加し、チャイコフスキーの序曲「1812年」などを演奏した。

オーケストラフェスタは、全日本高等学校オーケストラ連盟などが主催するもので、1995年に始まり15回目。過去最多の56校が参加したが、参加校は首都圏などに集中しており、それも多くは私立や大学附属。

そのような中、新潟県からは、唯一県立である高田高校が参加。2006年に初参加し、今回で3回目。当日は40センチの積雪の中、1時間遅れで到着したという。



高田高校器楽部（当時）は3年生が引退したため、1・2年生のみで部員42名、高田では最大の部だという。「新世界より」第四楽章を一糸乱れぬ歯切れのいいテンポで高らかに演奏。

指揮は2年生のみずき小倉瑞生さん。顧問の先生が指揮者を務める学校が多い中、落ち着いた、堂々とした指揮者ぶりだった。「皆に助けられてやっています。皆でいいオーケストラを作っていきたい」と抱負を語ってくれた。高橋 誠（高26回）

高田高校硬式テニス部女子 大活躍

本年の母校硬式テニス部（女子）が目覚ましい活躍を挙げています。主な成績を以下に報告します。

第31回全国選抜高校テニス大会が、3月

22日(日)より福岡市で開催され、硬式テニス部女子が出場しました。本大会は、地方の精鋭校が集まる大会で、高田高校は、県予選・ブロック予選を勝ちあがり、初出場を

果たしました。

団体初戦は大阪産業大学附属高校との対戦でした。各試合とも接戦でしたが、残念ながら0-5（シングルス0-3、ダブルス0-2）のスコアで、初戦突破はなりませんでした。なお、個人戦では1年生の竹内ひかり選手がベスト16と健闘しました。

インターハイの県予選の準決勝、決勝が6月1日に行われ、竹内ひかり選手（高2回）が準優勝し、インターハイへの出場を決めました。また、坂詰友梨選手（高2回）も3位に入賞し、併せて出場を決めています。両選手とも2年連続のインターハイ出

場です。

インターハイは、8月初旬に奈良県橿原市で開催されました。両選手とも、初戦から強豪校の選手との対戦になり、健闘及ばず一回戦での敗退となってしまいました。

選抜大会、インターハイとトップレベルの試合に常時出場できるほど後輩は遅くなっています。来年の活躍に期待したいと思います。なお上記大会出場に際し、東京支部の校友の皆様からご支援を頂きました。先生より感謝の言葉を頂いています。硬式テニス部OBとして、後輩に代わり、御礼申し上げます。 三村 到（高30回）

サッカー一部女子が県大会準優勝、北信越大会へ出場

現3年生女子2名が入学時にそれまで男子のみのサッカー部に入部し、創設期の多様な困難を乗り越えて3年目となる今年4月、全国高等学校体育連盟（高体連）に加盟することができ、県大会で準優勝し北信越大会に出場しました。初期メンバーの1人、3年生の山田侑美さんにこれまでの活動を振り返ってもらいました。

「女子サッカーは、男子サッカーほどメジャーではないので、仲間を集めることが一番大変でした。全員が高校からサッカーを始めた初心者だったので、練習内容をどうすればよいか非常に頭を悩ませました。とにかく良い雰囲気練習できることに心がけました。



先生方や地域の方々など様々な人に応援していただけたこと、最初たった2人で始めた部活動が部員も増え北信越大会に出場できたこと、そして自分が引退し卒業した後も高田高校サッカー一部女子が存続していくことが、今とても嬉しく思います」

白倉善積（高37回）

将棋で全国大会に出場

全国高校総合文化祭将棋部門の新潟県予選会で男子団体の高田高校が優勝し、7月に三重県で開かれる全国大会への出場を決めた。

県大会は、5月9日(土)新潟向陽高校で開かれた。男子団体は10チームが出場して、高田高校Aが3連覇を達成した。高田高校は団体に3チーム、個人9人で県大会に臨み、渡辺聡君(3年)、白川勝君(2年)、二宮昌史君(3年)のAチームが優勝。優勝候補と目される中、決勝で当たった新潟高校チームに「強くてびっくりした」が、

もつれた対局を制した。

3年連続で全国大会に出場する渡辺君は「去年の成績(ベスト8)を超えたい」と決意。高校入学前から腕を磨きあっていた3人にとって、全国大会は一緒に戦える最後の機会。「集大成にしたい」という思いも強い。

また、将棋の高校県大会が6月14日(日)に新潟市で開かれ、白川勝君が優勝、全国高校将棋竜王戦に駒を進めた。

熊倉 新(高29回)

